



THE JAPAN INTERIOR DESIGNERS' ASSOCIATION

・ 65年 4・5月号

——— 目 次 ———

- ① 東京は山口氏（再）
大阪は藤川氏（新）
両支部役員改選結果
- ② 年度末決算報告
本部・東京・大阪両支部
- ③ 道具と生活空間 東京
栄久庵氏のお話で月例会
- ④ チーフで600～800\$
マレーシアの勤務内容わ
かる
- ⑤ 第4回 ICSID 国際会議
協会にも参加のよびかけ
- ⑥ 会員の近況
事務局だより

資料 耐久消費所有状況と購
入実績および購入計画
＝都市・農村＝
国民生活白書より

日本室内設計家協会

東京は山口氏（再）、大阪は藤川氏（新）に

両支部役員選挙結果

改選期に入つて両支部では、通信投票により役員改選を行うとともに、大阪支部は5月11日、東京支部は5月27日それぞれ総会を開催されるはこびとなつた。

現在までにわかつた両支部の新役員は次のようである。

東京支部 有権者数 96名 総投票数 82票

○印は理事

支部役名	氏名
支部委員長	○ 山口 勇次郎（フリー）
支部委員	○ 豊 口 克 平（フリー） ○ 中 村 圭 介（フリー）
"	○ 狩 野 雄 一（千葉大） 長 大 作（坂倉）
"	○ 渡 辺 優（フリー） ○ 榎 田 均（通産省）
"	○ 竹 内 篤（フリー） ○ 白 石 勝 彦（松屋）
"	○ 岩 瀬 要 三（川島織物） 坂 田 種 男（千葉大）
"	鈴 木 富久治（フリー） 新 庄 晃（産工試）
"	今 井 滋（フリー） 野 口 寿 郎（天童木工）
支部監事	梶 高 樹（日本鋼管） 岡 本 賢 三（川島織物）

次点者 支部委員 泉 修 二 斉 藤 英 夫 梶 高 樹
支部監事 佐々木 達 三 倉 林 益太郎

支部役員業務分担

○印はその長

業務名	委 員
事務局	中 村 圭 介
財務部	○ 岩 瀬 要 三 野 口 寿 郎
渉外部	○ 狩 野 雄 一 坂 田 種 男 山 口 勇次郎
（著作権委員会）	○ 鈴 木 富久治 中 村 圭 介 狩 野 雄 一
事業部	○ 竹 内 篤 中 村 圭 介 新 庄 晃
（標準仕様委員会）	長 大 作
（出版委員会）	○ 豊 口 克 平 渡 辺 優 山 口 勇次郎
（資料調査委員会）	○ 榎 田 均 坂 田 種 男 渡 辺 優
（月例会委員会）	○ 白 石 勝 彦 今 井 滋 新 庄 晃
（展覧会委員会）	○ 今 井 慈 白 石 勝 彦 坂 田 種 男

大阪支部 有権者数 43名 総投票数 34票

支 部 役 名	氏 名	分 担 役 務	本部役名
支 部 委 員 長	藤 川 宏 允 (大丸)		理事
支 部 委 員	渡 辺 敏 雄 (安井建築)	財 務 部 (長)	"
"	飯 田 俊 彦 (高島屋)	"	
"	樋 口 治 (")	事 業 部 (長)	理事
"	野 口 茂 (京都工芸繊維大)	"	
"	岡 村 実 (日建設計)	"	
"	福 岡 喜久雄 (高島屋)	"	
"	森 岡 正 (")	総 務 部 (長)	理事
"	川 崎 浩 (大丸)	事 務 局 (長)	"
"	柏 原 秀 夫 (稲田)	"	
支 部 監 事	上 辻 謹 一 (阪急)		
"	鍋 谷 外茂男 (大阪木材)		

次点者 支部委員 袴田 穰 二 村 尾 栄

☆年度末決算報告☆

本部会計、東京・大阪両支部の年度末決算は次のようである。

A 本部会計 B 東京支部会計 C 大阪支部会計

A 昭和39年度本部会計決算案

39. 4. 1 ~ 40. 3. 31

☆ 収入の部

科 目	予 算	決 算 額			摘 要
		東京支部保費分	大阪支部保費分	合 計	
前期繰越金	425,763	235,703	190,060	425,763	
本 入 会 金	0	19,000	0	19,000	正会員14名、準会員10名
部 正 会 員	336,000	256,900	97,100	354,000	
会 準 会 員	12,000	9,600		9,600	
費 賛 助 会 員	600,000	350,000	50,000	400,000	計 20口
大阪支部より受入		200,000			会費内送金のため会費は 除外
雑 収 入	50,000	9,374		9,374	
	1,423,763	1,080,577	337,160	1,217,737	

☆ 支出の部

科 目	予 算	決 算 額			摘 要
		東京支部保管分	大阪支部保管分	合 計	
会 費					
理 事 会	96,000	101,007	4,000	105,007	箱根、有馬理事会旅費宿泊費
小 委 員 会	38,000			0	
人 件 費	104,000	94,000		94,000	事務局員20000×12 事務費 給与1/2
交 通 費	20,000	2,600		2,600	定期代1/2
消 耗 品 費	10,000	240		240	
通 信 費	50,000	37,650		37,650	月報・定款改正案等郵送料
賃 借 料	60,000	60,000		60,000	事務所家賃1/2
渉 外 費	15,000			0	
印 刷 費	10,000	44,270	15,939	60,209	名簿・定款改正案年鑑規程印刷費
光 熱 費	3,000	525		525	石油代1/2
什 器 備 品	10,000	3,305		3,305	石油ストーブ代1/2
雑 費	5,000	100		100	小切手取立料
事 業 費					
会 報 費	180,000	108,800		108,800	6回分
調 査 資 料	30,000			0	
雑 費	17,000			0	
配 布 金	300,000	140,000	60,000	200,000	東京12万・大阪6万・九州2万
九州支部結成資金		66,060		66,060	支部結成準備金及び旅費
東京への送金			200,000		会費内送金のため合計より除外
予備金繰越金	475,763	422,020	57,221	479,241	
合 計	1,423,763	1,080,577	337,160	1,217,737	

☆ 事務局員給与昇給分4,000円は未払次年度分として支出する予定。

別表(1) 本部会費未収入金一覧表

39. 3. 31現在

区 分		支 部 別			合 計
		東 京	大 阪	九 州	
正 会 員	38年度以前(39. 3以前)	30,500	16,000	—	46,500
	39年度(39. 4～40. 3)	81,800	48,800	9,000	139,600
準 会 員	38年度以前(39. 3以前)	—	—	—	—
	39年度	2,500	—	1,000	3,500
合 計		114,800	64,800	10,000	189,600

九州支部は報告未着のため39年11月～40年3月までの正会員9名、準会員2名の会費を未収として計上した。

B 昭和39年度東京支部会計決算案

39. 4. 1 ~ 40. 3. 31

☆ 収入の部

科 目	金 額		摘 要
	予 算	決 算	
前期繰越現金預金	52,225	52,225	
☆ (未収入会費)	(371,700)	(290,400)	別表(2)参照
会 費	576,000	680,000	別表(1)参照
月 例 会 費	50,000	33,500	
配 布 金	192,800	120,000	本部会計より
雑 収 入	2,000	832	振替口座利息
合 計	873,025	886,557	

☆ 未収入会費は別紙一覧表の通りであるが繰越金には算入しない。

☆ 支出の部

科 目	金 額		摘 要
	予 算	決 算	
本 部 会 費	228,000	266,500	別表(1)参照
会 議 費	100,000	69,383	
委 員 会	40,000	28,328	
小 委 員 会	30,000	13,352	
遮 務 費	50,000	26,604	総会議案・封筒・月例会通知
通 信 費	30,000	35,830	TEL 月1,000 月例会へガキ・切手
交 通 費	20,000	3,840	事務局員定期1/2 その他
消 耗 品 費	10,000	3,290	
事 務 所 費	60,000	60,000	10,000×12ヶ月×1/2
光 熱 費		525	石油1/2
備 品 費	15,000	4650	石油ストーブ代1/2他
人 件 費	116,000	106,000	事務局長 3,000×12 事務局員 10,000×12×1/2 ボーナス
雑 費	5,000	12,747	故中村富夫氏香典他
仮 払 金		450	水之江氏保険料差額
予備金・繰越金	169,025	255,058	別表3参照
合 計	873,025	886,557	

☆注 事務局員給与昇給分4,000円は未払で次年度分として支出する予定

別表1 会費納入情況

39. 4. 1 ~ 40. 3. 31

区 分		内 訳		総 合 計
		本 部	支 部	
正会員	38年度以前(39年3月以前)	114,300	180,400	294,700
	39年度(39年4月~40年3月)	127,200	190,800	318,000
	40年度(40年4月以降)	15,400	23,100	38,500
準会員	39年度(39年4月~40年3月)	7,200	14,400	21,600
	40年度(40年4月以降)	2,400	4,800	7,200
合 計		266,500	413,500	680,000

註 九州支部結成により移席した会員の39年11月以後の会費11,600円は九州支部に送金したので上記金額には含まれていない。

別表2 未納会費一覧

39. 3. 31現在

区 分		内 訳		総 合 計
		本 部	支 部	
正会員	38年度以前(39. 3以前)	30,500	47,900	78,400
	39年度(39. 4~40. 3)	81,800	122,700	204,500
準会員	38年度以前(39. 3以前)	—	—	—
	39年度(39. 4~40. 3)	2,500	5,000	7,500
		114,800	175,600	290,400

内訳は個人別未納会費一覧表参照のこと。

別表3 年度末繰越金内訳表

科 目	金 額	摘 要
銀 行 預 金	420,097	三菱銀行虎の門支店普通預金
振 替 口 座	253,572	東京 76389番
現 金	3,409	
合 計	677,078	東京支部費 255,058 本部費東京保管分 422,020

☆ 上記の外、水之江氏保険料450円が仮払いされている。

○ 昭和39年度大阪支部収支決算報告案

39. 4. 1 ~ 40. 3. 31

☆ 支部会計

費 目	金 額	備 考	予 算 額
収 入	456,905		597,071
支 出	331,836		597,071
残 高	125,069		0

☆ 収入の部

費 目	金 額	備 考	予 算 額
前年度繰越金	91,871		91,871
入 会 金	0		
会 正 会 費	243,700	473×500 300.-不足 25×300	288,000
費 賛 助 会 費	50,000	東洋紡インテリヤ、東洋ゴム工業 東洋リノリウム(半年分)	100,000
配 布 金	60,000		107,200
雑 収 入	11,334	臨時会費、銀行利息	10,000
合 計	456,905		597,071

☆ 支出の部

費 目	金 額	備 考	予 算 額
本 入 会 金	0		0
部 本部 正会員会費	97,100	100×25 200×473	115,200
費 会費 賛助会員 "	50,000	東洋紡インテリヤ、東洋ゴム工業 東洋リノリウム(半年分)	100,000
会 支部総会会議費	32,366	総会の借室料、夕食費等	30,000
議 支部委員会 "	6,380	委員会喫茶、夕食費	18,000
費 小委員会 "	2,860	年鑑編集委員会、理事会交通費	
事業費 月例事業費	30,270		110,000

費 目		金 額	備 考	金 額
遮 務 費	人 件 費	69,000	2000×12 $3,000 \times 12$ 6,000×12	72,000
	什 器 備 品	4,700	ロッカー 1基	
	印 刷 費	14,090	月例会案内状等	5,500
	通 信 費	8,940	切手代、ハガキ代	6,500
	交 通 費	160		2,000
	消 耗 品 費	1,690	事務所移転の為 ゴム印代	1,500
	渉 外 費	6,920	講師接待	予備費 136,371
	雑 費	7,360	日建設計磯田氏お礼6,000.- その他	
合 計		331,836		

昭和40年3月31日現在会費未収入金明細

項 目	金 額	備 考	内 訳	
			本 部 会 費	支 部 会 費
昭和37年度未納会費	6,300 300	300×6 500×9	2,400 100×6 200×9	3,900 200×6 300×9
38 "	34,000	500×68	13,600 200×68	20,400 300×68
39 "	122,000	500×244	48,800 200×244	73,200 300×244
計	162,600		64,800	97,500

但し4月中に入金分 50ヶ月分 25,000円

道 具 と 生 活 空 間

栄久庵氏のお話で月例会

日 時 4月16日 P. M. 6.00ヨリ

場 所 都道府県会館 会議室

出席者 香西・島田・佐藤・桂田・原・
小管・漆原・三宅・鎌田・長沢・
加藤・熊井・中井・大和・水谷・
山本・白石・渡辺・竹内・中村・
荒川・広田・山口・楠本・大橋・
村松・鈴木・大泉・森谷・高須・
田中・長・渡部・光藤・高沢・
松下電工（株）

（株）千代田グラビヤ印刷社

東京支部4月例会は、G. K. インダストリアル研究所長の栄久庵憲久氏を招き、「道具と生活空間」というお話をききました。栄久庵氏はアメリカの工業デザイン賞であるカウフマン賞を受賞された。J. I. D. Aの会員で、その研究テーマは、我々の協会員の仕事とも関係があるだけに、上記の人々の他会員外も合せ42名が出席し、なかなか盛会でした。

お話の内容はテープレコードを整理して別に掲載する予定ですが、僧籍を持つ方だけにそのお話は大変興味ある内容で要要は次のようでした。（文責事務局）

I C S I Dのバリーの会議に日本から50社も出品しましたが電気釜以外はオリジナルがないことが批判されました。

たしかに日本人は、オリジナルを展開させることは上手ですが、現在我々が使っている自動車にしろ、オートバイにしろ、その生活の基本型体は1920年～30年に完成しているものです。従って欧米人は、文化的には征服感を持っており「日本に行けば欧州の歴史をもう一度見られる」という人がある程ゆとりを持って見られる立場にあります。

日本のIDは敗戦という、しずんだ社会背景から出発し非常なスピードで導入された、それがためIDについての理解があまりにも単純であったのではないかと思う。IDは企業の利益、追求を通じて福祉国家を作っていくということではオリジナルなものではない。その意味でルネッサンスを追求し自分達の文化を勝ち取ることが大切であると思う。

それでI. D. の職域を確立するためにも、私の専ら所の力でできることを研究して見たいと出て道具論を取りあげて見ました。

道具ということは「道のそなわりたるもの」という意味で、そこには人間の秩序を求めようとする姿勢があります。

道具は又、意識の発見にも関係があり儀式を作ります。

道具は又作法（秩序感）にもつながり、作法はものを考へる人間の姿勢でもある。茶室は道具の集りであり、茶室そのものが道具ともいえる。そこには儀（しつけ）があり、道具そのものに儀が入って調和の概念が生み出される。

自動車にも儀がなければそれは野獣のようなものであり、通行人を圧迫する、明治の日本人は、そのめずらしさに魅力を感じたが、それを使うための環境、道路を考えなかった。フォードは最初の自動車に対し、フェアレーンと、名命したが、これは、道がなければならないことを意味している。日本でも高速道路を走ることにより、新しい作法が生れなければならない。こう考えてくると自動車に変わる作法はなかなか生れるものでないことがわかる。

電気釜ができたことは、主婦に時間をかせがしてくれた。一定の社会組織の中で自分の時間を作るということは、大変むずかしいことであるが、これによって主婦はテレビを見たり、色々の知識をうるできるようになった。

昔はくど（かまど）の前で一日の生活計画が考えられ主婦の「のろい」が、こめられた。それがため新年には、くど、にしめなわが張られた。

然し電気釜にはこうした考えはない、これは変心したのである。

掃除道具にしてもオランダの婦人運動家が考えた、ポンプのような物から現代の物へ発展したもので、これは又婦人の斗争の歴史であるともいえる。

すべて、工業デザインは、住いのしかたを考えることが大切であり、これが切れると、糸が切れた、風のようにになってしまう。

チーフで 600～800\$

マレーシアの勤務内容わかる

事務局では前号に御紹介した、マレーシア、のヘンリー会社の勤務条件等をジェットロを通じ紹介していましたがこのほど次のような回答があり、勤務条件の大意があきらかになりました御希望の方は 5月末までに事務局まで申出て下さい。

仕事の内容は

- ☆ 小住宅、店舗、ショールーム、銀行、レストラン、オフィス、ホテル等のインテリアデザインを独力で仕事の出来る人、即ち家具デザインが堪能、詳細図、透視図、スケッチがかけ、色彩コンサルト及び仕事の監理の出来る人を望む。

仕事の上での地位

- ☆ デザインセンターのチーフデザイナーの地位が与えられ、一年間の試傭期間の後、条件に応じて、2年間の契約をする。

応募者の資格

- ☆ 専門学校が大学でデザインを専攻し、インテリアデザイナーの資格を得た人で、年は、25～45才、出来れば独身、男女を問はず、英語が話せ、かける人、(但し Good、English、の必要なし)。

任 地

- ☆ シンガポール 滞在 (赴任地)

報 酬

- ☆ マレー通貨の 600\$～800\$ (経験に応じてそれ以上) プラス年末ボーナス支給。赴任旅費、航空券 (エコノミクラス) と契約終了後帰国、航空券は会社負担で支給することを確約する。
彼 (彼女) のため、宿泊の世話をし、その家賃は会社負担、また、会社の自動車をシンガポール滞在中用立てます。

事業内容

- ☆ 当社は、デザイン会社であり、家具メーカーである。沢山の客に「一括取引」をしている。
また、インテリアアクセサリ (彫刻、カーベツト、照明、絵画等) も取扱っている。

事業所の規模

☆ 当社は年間10万ドルの商売をしている。

従業員はデザインセンターの人を含めて約35人である。

尚、マレードルは1\$117円にあたる。

才4回 I C S I D 国際会議

協会にも参加のよびかけ

一昨年バリーで開かれた第3回 I C S I D 会議にひきつづき、今度第4回の会議を本年9月21日～24日、ウインで開催することになり、協会にも次のような案内がまいりました。この会議は国際的な工業デザイナーの会議で日本ではJ I D Aが正式に参加しています。

協会としては財政的な理由で正式に代表を派遣することはできませんが、会員の方で参加できる方がありましたら、出席の便を計りたいと思います。

以下は手紙の全文です。

I C S I D 第四回国際会議

於 ウィーン

詳細及び登録カードは4月に送付

I C S I D は、世界にデザインを推進させ、デザインと専門家のレベルの向上のために、また関連分野の国内、国外のあらゆる協会（組織）との提携を目的として1957年に設立したもので、現在では25,000人以上の会員、5大陸22ヶ国からの34の協会で構成されています。また1962年にはU N E S C O に認められ、その諮問機関の地位を与えられた。

国際会議は国際大会と共に2年ごとに開かれている。

第四回国際会議開催地としてウィーンを選んだ。

ウィーンの独特な雰囲気は東西、人種、あらゆるものを越えて、参加国々、参加する人のふれあいを一層深めるものと確信している。

音楽の都ウィーンを象徴し、また音楽は万国共通のことばであるという点から、本大会のマークとして楽符を選んだ。

ウィーンでお会いするのを楽しみにしています。

大会の編制局 : Österreichisches für Formgebung, Salesianergasse 1, Vienna III

期 日 : 1965年9月20日(会員のみ)世界会議

9月21 - 24日 1965年大会

場 所 : WIFI Währinger Gürtel 97,
vienna XVIII

ホテル予約 : 各個人でも参加国のエージェントを通してでもよいが、別紙のホテル案内を参考にして出来るだけ早くおそくとも6月末日までに予約して下さい。

参加料 : US 40 \$

(婦人、学生 US 20 \$)

あらゆる会議審議の参加料

書類料、公式行事の参加料

会期中の昼食代を含む

なお、御婦人方のためには、市内観光や史跡めぐり、鑑賞会等のプログラムが用意されております。

歴史的に興味のあるウィーンの町や文化施設などの観光をアレンジする事が出来ます。

会議のテーマ " デザインと社会 "

工業デザイナーの責任と義務 デザイン発展に及ぼす公衆の力 Public Use への技術の改良。

この主題は、次の4つの標題で論ぜられる。

1. 健康 2. 教育 3. 輸送(機関) 4. 金融界

またデザイン教練のための特別会議も開かれる。デザイナーと各国からの代表者は現在の記録によつて招待され、また国際展示会で実証される。

使用 語 : 英語、フランス語、ドイツ語

以下詳細はウィーン会議編制局か、各国の I C S I D 加入協会へおたずね下さい。

最終のプログラムは1965年5月に発送されます。

それにはこれらのすべての詳細や講演者、登録カードも含まれています。

会員の近況

東京支部

○ 古藤 司郎 氏

4月16日～7月31日迄、A, I, D年次総会出席とニューヨーク見物の為出向。
A, I, Dの組織・活動状態を見分されています。

○ 佐々木 英二 氏

ORION社、社長のヨット(197')世界1級のものを4月末完成、室内装飾はフランス調の高度なもので本格的なヨットは我国初めての事です。

○ 中井 太一郎 氏

江戸屋ホテル(筑波山)新館の家具、インテリアデザイン完了。

○ 吉 永 淳 氏

3月初めフィンランドからデザイナーを招き、I A Iセミナー・外部セミナー等実施、多忙な日程を終了、4月初めより意匠部にもどられました。

○ 佐藤 守男 氏

① 旅館玉樹(箱根強羅)完成

今度の客間では床の間全体を水盤に扱ってみました。

② 外房鴨川に観光ホテル計画中

念願のスラブガーデン方式で建てようと思つています。

○ 有川 勲一 氏

① COFFEE ロッジ設計完了(新大久保駅前)

② 新村邸設計中(沼袋)

③ 三浦邸 (青山高樹町)

④ 小山アパート設計中(吉祥寺)

○ 漆原 美代子 氏

生活美学(仮題)三一書房新書 執筆中

○ 藤原 庸弘 氏

① 全国優良家具展出品のためのデザイン依頼される。

② 住宅設計中。

③ 木材加工、接合強反の実験準備。

○ 香 西 啓 三 氏

3月20日に株式会社新和総合デザイン研究所を退職され、現在フリーになりました。

○ 桜 井 定 雄 氏

今度勤務先が変りました。

港区麻布仲之町19番地

日本室内設備工業株式会社

TEL (582) 2642代

○ 玉 田 郁 朗 氏

TAU室内デザイン事務所 電話番号変更

新番号 (293) 0928

なお自宅も町名変更で

文京区湯島2丁目31番8号

○ 鈴 木 栄 二 氏

勤務先の株式会社 睦屋商店 本社移転

移転先 港区芝新橋6-14

TEL (433) 6171~5

○ 富口株式会社

make a study of Amie-web No. 14 を近々発行の予定です。内容に文部省
省の学校家具基準を載せて皆様の便宜を計りたいと思います。

大 阪 支 部

○ 坂 根 健一郎 氏

4月より2年振りに大阪支店(高島屋)設計部へ戻られました。

① 雲仙ホテル東洋館

インテリア、家具カーテン照明器具—高島屋福岡出張所

設計 坂 根 健一郎

② 別府 とり扇 (和風レストラン)

設計監理 高島屋大阪支店設計部 坂 根 健一郎

③ ホテルむさし(白浜温泉)

月刊ホテル 観光旅館 40年4月号 写真記事掲載

○ 山 本 敏 郎 氏

今度 東京都台東区上野公園内

東京芸術大学美術学部 工芸科 I D 研究所

TEL (821) 6111

に勤務されました。

なお止宿先は

横浜市港北区篠原町 2147 山本方

事務局だより

新年度を迎え早 2ヶ月をたとうとしております。4月より桂田さんの後を引継ぎまして、色々忙しくやつております。

これからももつと事務局を会員皆様の中継所として利用していただきたく、又事務局への御意見等がありましたらお願い致します。まだ不慣ですが少しでも皆様のお役にたちたいと思いますので今後共よろしくお願い致します。

荒 川 純 江

九州支部事務局が移転しました。

福岡県大川市酒見中原105

恵 産 業 株式会社内

資料

耐久消費財所有状況と

(都市の部)

実績及び計画 品 目	所 有 世 帯 (%)								過去1年間		
	35年 2月	35年 8月	36年 2月	36年 8月	37年 2月	37年 8月	38年 2月	38年 8月	35年 8月	36年 2月	36年 8月
和 だ ん す	94.4	95.6	97.2	95.5	95.5	95.6	96.3	97.2	8.3	7.3	9.7
洋 服 だ ん す	58.5	62.5	63.9	64.6	66.2	69.1	70.2	73.2	4.8	4.2	5.1
ミ シ ン	69.5	71.7	74.1	75.3	75.8	77.8	79.1	81.3	6.2	5.7	7.2
扇 風 機	34.4	42.0	41.9	52.3	50.6	61.2	60.6	69.7	9.8	7.0	12.2
ストーブ(電気)	9.4	—	10.9	11.5	12.3	12.1	14.0	14.3	—	2.1	1.3
〃 (ガス)	11.8	—	13.4	14.5	16.9	17.9	20.0	20.7	—	2.5	2.0
電 気 冷 蔵 庫	10.1	15.7	17.2	26.6	28.0	38.1	39.1	51.9	6.0	5.6	10.2
電 気 洗 濯 機	40.6	45.4	50.2	55.0	58.1	62.8	66.4	70.2	8.7	7.7	9.3
電 気 掃 除 機	7.7	11.0	15.4	20.7	24.5	28.9	33.1	37.4	3.6	5.3	6.8
電 気 が ま	31.0	37.5	41.8	44.7	48.4	50.9	52.9	55.9	8.9	8.6	6.9
電 気 蓄 音 機	22.8	20.4	18.8	20.4	20.3	19.7	21.1	21.3	2.1	1.5	1.9
テ レ ビ	44.7	54.5	62.5	71.9	79.4	84.2	88.7	91.2	21.9	18.8	18.2
カ メ ラ	45.8	47.2	49.2	50.8	51.8	54.5	56.4	59.3	5.7	5.8	6.0
オ ル ガ ン	5.9	6.6	8.0	8.9	9.8	11.4	12.1	14.1	1.4	2.0	1.6
ビ ア ノ	2.0	2.5	2.7	3.1	3.3	3.4	3.7	3.9	0.6	0.4	0.3
トランジスター ラ ジ オ	16.5	24.9	26.0	29.8	34.3	39.5	41.8	45.8	7.3	6.4	7.1
ルームクーラー	—	0.2	0.4	0.8	0.7	1.5	1.3	1.9	0.1	0.1	0.2
マ ッ ト レ ス	—	7.9	10.3	14.1	16.9	19.7	23.8	27.7	2.4	2.4	3.8
ス ク ー タ ー オ ー ト バ イ	9.6	12.2	13.5	14.1	14.8	15.8	15.6	16.3	4.0	4.1	3.0
乗 用 車	—	1.2	2.8	4.4	5.1	6.0	6.1	7.4	0.5	1.0	1.4
撮 影 機	2.4	2.4	2.8	4.0	3.8	4.3	4.7	4.7	0.3	0.5	0.6

(備考) 当庁「消費者動向予測調査」による。

購入実績および購入計画

に入手した世帯 (%)				今後1年間に購入計画のある世帯 (%)							
37年 2月	37年 8月	38年 2月	38年 8月	35年 2月	35年 8月	36年 2月	36年 8月	37年 2月	37年 8月	38年 2月	38年 8月
8.6	9.2	8.7	9.2	5.0	4.2	4.7	5.3	4.6	4.7	4.1	3.8
5.0	5.5	5.2	5.5	4.9	3.8	4.8	4.9	5.1	4.3	3.9	3.8
5.6	7.4	7.0	6.6	3.9	3.4	3.5	4.4	3.8	3.6	3.5	3.2
7.8	15.1	10.2	15.7	6.2	6.0	8.1	9.5	9.8	8.8	9.0	5.1
1.8	1.3	1.8	1.3	0.8	—	1.0	1.6	1.0	1.0	0.9	0.9
3.0	2.6	3.1	1.8	1.3	—	1.5	1.1	1.4	1.3	1.3	0.8
8.2	12.5	9.8	14.6	5.7	7.0	9.6	13.7	13.6	12.7	12.6	9.9
8.5	10.4	9.0	8.7	7.2	6.5	8.0	9.6	9.2	9.3	7.2	6.1
7.6	7.7	7.9	6.9	4.5	4.6	8.1	8.6	8.7	9.3	9.0	6.6
7.4	6.9	6.4	5.9	6.7	5.2	5.9	5.8	4.6	4.7	4.0	2.4
1.7	1.7	2.4	1.9	1.3	1.5	0.6	0.7	0.9	0.6	0.6	0.4
16.9	16.0	13.9	12.3	8.2	7.1	7.3	6.9	6.0	5.1	4.3	3.5
6.3	6.9	7.1	7.9	3.5	3.7	4.3	4.3	4.6	4.6	5.5	4.2
1.7	2.4	2.5	2.4	1.4	1.3	1.5	1.7	1.8	1.9	1.6	1.7
0.4	0.5	0.6	0.7	0.2	0.4	0.5	0.7	0.5	0.7	0.7	0.7
7.0	7.3	6.4	6.5	3.1	3.8	3.1	4.4	3.9	4.2	3.1	3.6
0.1	0.8	0.3	0.8	—	0.6	0.6	1.3	1.4	2.0	1.3	1.5
4.4	4.8	6.0	6.9	—	2.6	3.2	4.8	4.7	4.5	4.1	4.4
3.2	3.3	3.0	3.2	1.5	1.6	1.7	2.1	1.5	2.0	1.3	1.3
1.5	2.3	1.8	2.3	—	0.3	1.0	1.0	1.3	1.3	1.3	1.2
0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.7	0.8	0.9	1.1	1.1	0.8	0.7

資 料

(農家の部)

実績及び計画 品 目	所 有 世 帯 (%)			
	3 5 年 2 月	3 6 年 2 月	3 7 年 2 月	3 8 年 2 月
和 ダ ン ス	9 5.1	9 5.7	9 6.0	9 4.7
洋 服 ダ ン ス	3 3.5	4 5.4	4 2.9	4 6.3
ミ シ ン	5 4.9	6 0.1	6 2.8	6 7.1
カ メ ラ	1 6.1	1 8.0	2 1.4	2 4.3
ラ ジ オ	9 0.4	8 8.1	7 9.3	7 6.5
トランジスターラジ オ	5.1	9.4	1 5.6	1 8.6
扇 風 機	6.4	8.8	1 2.4	1 8.1
テ レ ビ	1 1.4	2 8.5	4 8.9	6 9.0
電 気 洗 濯 機	8.7	1 4.5	2 2.9	3 2.0
電 気 冷 蔵 庫	1.3	2.5	4.8	8.5
電 気 が ま	9.1	1 4.2	1 9.4	2 5.0
電 気 井 戸 ポ ン プ	1 0.8	1 4.4	1 9.5	2 4.2
自 転 車	9 0.3	8 9.8	8 9.3	8 8.2
オ ー ト バ イ	1 1.5	2 0.0	2 7.5	3 3.4
三, 四 輪 車	4.3	4.8	5.9	7.8
動 力 耕 う ん 機	9.4	1 3.6	1 9.1	2 6.7

(備考) 当庁「消費者動向予測調査」による。

過去 1 年間に入手した世帯 (%)			今後 1 年間に購入計画のある世帯 (%)			
36年2月	37年2月	38年2月	35年2月	36年2月	37年2月	38年2月
4.1	4.6	5.5	4.4	2.0	3.0	2.6
3.9	3.6	3.8	4.5	3.3	4.1	4.5
7.0	5.5	6.0	4.0	4.0	3.6	4.1
1.6	2.2	3.0	1.0	1.5	1.0	1.9
3.5	2.3	1.9	1.2	0.9	0.5	0.3
2.3	3.6	3.7	1.0	1.2	1.9	1.5
1.6	2.2	4.8	1.6	1.9	4.5	4.4
15.1	19.7	18.6	5.1	6.8	8.3	6.1
3.9	6.5	7.7	2.9	5.0	7.6	10.5
0.8	1.7	3.2	0.7	2.3	3.5	5.9
4.4	4.2	5.0	3.5	3.6	4.6	4.6
2.9	3.7	4.2	3.4	2.7	2.9	3.2
11.2	11.3	10.4	4.9	4.2	3.9	3.2
6.9	8.4	8.5	1.6	2.8	2.2	3.2
1.0	1.4	2.4	0.6	0.6	0.9	1.1
3.6	6.0	8.1	2.5	3.1	3.3	3.8

日本室内設計家協会

正 会 員 各 位

日本室内設計家協会

東 京 支 部

消 費 者 教 育 の 協 力 に つ い て

通産省デザイン課は昭和40年度事業の一つとして下記のような「デザイン主婦の会」及び別にデザイン振興協議会等と協力して行う「展示会における解説」「デザイン教育」等について協会の協力を依頼してまいりました。東京支部委員会ではこの件について協議した結果、半日奉仕、事務的諸経費等のみ負担という条件でございますが、良いデザインを普及させるという趣旨からいつて有意義なことであり、今後の予算を確保するためにも今回は会員の御好意により協力しようということになりました。

御協力いただける方は同封の葉書に必要事項を記入し6月5日までに投函して下さい。

尚事業についての問い合わせは、通産省デザイン課（501-1668）にお問い合わせ下さい。

記

デザイン主婦の会

1. 主 催 = 通産省・デザイン振興協議会
2. 目 的 = 一般消費者のデザイン認識の培養
3. テーマー = 別紙アンケート
4. 場 所 = 東京近郊公団団地
5. 期 間 = 昭和40年6～8月

団地1日とし1～2時間程度

日本室内設計家協会

東京都港区芝田村町5の15 今成ビル内

TEL (431) 4903

振替東京 76389